



会報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA
鶴岡ロータリークラブ

第731回例会 1973.11.27 (火) 雨 No.22

例会日 火曜日 12時30分
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所
会長 安藤定助 幹事 小松広穂

a Time for Action

「今こそ行動のとき」



郷土の民芸品
いづめこ人形

会報はご家族みんなで読みましょう

○出席報告

本日の出席		
会員数	数	66名
出席数	数	48名
出席率	率	72.73%
前回の出席		
前回出席率	率	69.70%
修正出席数	数	59名
確定出席率	率	89.39%

欠席者

阿宗君、阿部(公)君、長谷川君、早坂(徳)君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、金井君、黒谷君、小池君、嶺岸君、三浦君、三井(賢)君、峯網君、小野寺君、斎藤(信)君、谷口君、佐々木君、高橋(正)君

メイクアップ

五十嵐(伊)君—山形RC
阿部(公)君—酒田東RC
高橋(辰)君—酒田RC
阿部(襄)君—遊佐RC
阿宗君—新庄RC
風間君、海東君、小花君、吉野君、新穂君、小野寺君、佐藤(友)君、富樫君、一鶴岡西RC

○ヒジター

太田毅一君 中沢秀雄君 小林忠康君
鶴岡西RC

○点鐘

安藤会長

○ロータリーソング「我等の生業」

○会長報告

安藤会長

会長、幹事報告が終了しましたら先程申し上げました天主堂につきましてゲストの方のお話をお願い致します。

プログラム委員会から「予定の会員スピーチが皆さんから逃げて逃げて逃げまくられ困っている」という事ですので止むを得ず本日はロータリー情報委員会の方に「ロータリー情報」についてお願いすることにしました。会員スピーチについては後程プログラム委員長よりご要請があることと思います。会長報告としては別にありませんが、鷺田さんのご容態について今日電話で尋ねて見ました。奥様が電話にでられまして「病気については殆ど心配がなくなり、現在は療養中でありお医者さんからももう少し薬を飲んで静養する様にと言われており、来月1ヶ月位は外に出さない様にしたいと思っております。皆さんによりしく申し上げて下さい。」との事でしたのでお伝えします。

次に池内さんにもその後さっぱりお伺い致しませんでした。近期中に郷里に行かれる様なお話がありましたので今日電話して見ましたら12月7日「いなほ1号」でここをお立ちになり、池内さんのお遺骨を郷里に埋葬なさるそうでございますのでお伝えします。

それから、これはローターアクト委員会の方から申し上げる事かも知れませんが、会長宛に案内が来ておりますので申し上げます。ローターアクトが皆様のお蔭で誕生致しましてからはや1年を迎えることになったそうで

ございます。それで明11月28日午後6時30分
から産業会館4階の第2会議室でささやかな
1周年記念式をやりますので、お育て頂いた
ロータリアンの方々にも多数ご出席を頂き
たいということでございます。登録料は1,500円
お願いしたいとのことです。尚今日お申込み
のない方でも明日ご都合つけられれば短時間
でも結構ですので、なるべく沢山ご参加願
いたいと思います。どうぞよろしくお願
い致します。

○幹事報告

小松 幹事

1. 会報到着

上山RC 藤沢RC

2. 次の印刷物到着

イ、平RCより「20年の歩み」

ロ、山形北RCより「5年の歩み」

ハ、第一回RAC東北連合大会記録

◎礎釣大会開催について。

親睦委員に代り申し上げますが、第2回礎
釣大会の件が盛り上げて来ましたので、12月
2日波の具合を見ながら大体温海向うで実施
する計画を立てております。参加希望の方は
幹事迄至急申込んで頂きます。車の手配は私
の方でやります。登録料は後程ご連絡申し上
げます。それから天候に依っては大部奥磯に
なり危険を伴いますので12月1日正午の天候
を見て実施の可否を決定し、希望者にご連絡
申し上げる予定です。

○スピーチ

カトリック教会天主堂保存会役員
萩原 泉氏

本日は貴重な皆様のお時間を私共の話の
為におさき下さいましたご厚意に対して厚く
心からお礼を申し上げます。私共の参上致し
ましたのは、本年5月1日鶴岡市の文化財に
6月27日には山形県の文化財にそれぞれ指定
されました天主堂の建築学的ならびに文化財
としての価値を認識して戴き、その保存の必
要性についてご理解を得たいと思うからで
ございます。

天主堂については新聞、テレビ、その他の
報道機関によって取り上げられておりますの
で充分ご存知の事とは存じますが、いませし
言葉を加えさせて頂くことが出来れば有難い
幸せと存じ敢えて参上致した次第です。この
趣旨をご理解戴く為にキリスト教に関する文
化財についてその歴史的育影を簡単に申し上
げたいと思います。

日本のキリスト教は、外国のそれと違い布
教過程において約300年の禁教というブラン
クを持つ大きな特徴があります。我国にキ
リスト教が初めて布教を開始したのは天文18年
(1949年) フランシスコ・ザベリオであります
が、これに続いて多くの宣教師達が日本を

訪れ、これらの人々によって日本は文化的に
一大躍進を遂げました。例えば印刷術、経済
学、医学、天文学、航海術の導入に依つての
進歩は素張らしかつたといわなければなり
ません。しかし慶長18年に始まる徳川幕府のキ
リスト教弾圧は漸く日本に根を下ろし始めた
学問、芸術をも追放してしまいました。その
ために日本に開花した西洋美術と技術とはゴ
ア、マカオ等の外地に移つてしまいました。
かろうじて幕府の目を逃れた美術品が僅
かに残り、南蛮美術として、国立博物館、神
戸博物館等に保存されるに過ぎません。幕府
はキリスト教に関係あると思われる総ての物
を破壊、又は焼却しましたので、美術的価値
ある物は殊んど姿を消し、ごく少数の物がキ
リシタンによって隠匿されたものが現在迄残
っております。それは国立博物館所蔵の約
500点をはじめ各地にあります。美術品と
いうよりは、歴史的なキリシタン遺品として
の価値を有する物であります。庄内にも少し
はありますが研究が充分なされず今後の課題
になっております。これらの問題については
時間の関係上割愛させて頂きます。

さて、キリスト教が再び日本を訪れ、禁教
令が解かれたのは明治6年ですが、それと同
時に各地に教会堂が建てられ、画絵、彫刻等
も多数もたらされました。建築物としては
大浦の天主堂、明治村に移築された教会堂が国
の文化財指定物件として有名ですが、
その他のものについてははまだあまり理解され
ておりません。

鶴岡にキリスト教が伝道されたのは明治12
年フランスのツルベンという宣教師によつて
であります。師が街頭で説教している時、
1人の男に投げられた瓦が師の額に当り流血
するさざわが起る程キリスト教は白眼視され
た時代でした。何年か後にツルベン師が東京
麻布の教会に居りました時、1人の立派な軍
人が師を訪れ「まっぴらご免下さい」と土下
座して謝ったというのですが、その人が誰
れであろう佐藤鉄太郎中将であったと慶応大
学教授陰山博士編の「ツルベン神父の生涯と
その想い出」に書いてあります。明治18年
にはフランス人のダリベルという宣教師が来鶴
し、16年間鶴岡に定住したのですが、師が鶴
岡に来た頃はパンもなく、万頭の皮を食べた
というエピソードもありますが、明治20年木
村屋でパンを売り出した為にその問題は解決
したわけです。さてダリベル神父は鶴岡に教
会堂を建てる為に、私財は勿論、資金調達
の為にあらゆる努力を続け、故国フランスの
知人、友人に寄附を願う手紙を書くのが日課
でした。明治20年10月には天主堂のある現
在地(家老末松十蔵屋敷)を購入し、明治35年に

は教会建設工事に取っかかりました。設計は当時東京神田教会のバビエ神父で、工事請負は森田三郎右衛門木商で、大工棟梁は相馬富太郎でした。西洋建築特に教会建築の経験のない彼は、再三上京してバビエ神父の指導を受け、又方々の教会堂を見学して研究を続け防腐剤の代りに大量の硫黄を土台に流し込み遠くフランスから金具を取り寄せる等の苦勞を重ねた結果、明治36年10月11日には見事落成の運びに至りました。木造瓦葺のバジリカ型三廊式のロマネスリ様式で正面には高さ24米の尖塔がそびえ、外圍にはロンバルト帯といわれる飾と、ラウンドアーチ窓が連続して配置され、壁柱の柱頭はコリント様式で作られています。この優雅で荘嚴な教会堂は日本でも屈指のもので、盛岡、弘前、気仙沼の教会はこの天主堂をまねて建てられたものと聞いております。

現在日本各地に教会堂がありますが、明治建築で外人の設計によるものは無いといわれます。さらにある物は老朽化し、ある物は便宜上の理由で取りこわされ、現代建築に生れ代って居ります。東北大学の佐藤匠建築学教授が5月10日に調査されるや翌月には県の文化財に指定された理由もお解り戴けると思います。又7月には文化庁の田中一松氏、9月には倉田文作氏がおいでになり、声을合せて重要建築物としての価値を認め、永久保存を強調されました。私達は宗教を離れて文化財として天主堂保存の重要性を痛感致して居りますが、皆様におかれましては何卒ご理解あるご協力を心からお願い申し上げます。次第です文化都市として知られる鶴岡の市民が、市民の、そして県民の宝としてこの建物を保存したという誇りを持つことが昭和に生れた私達の幸わせと私は信ずるものであります。ご静聴有難うございました。

○スピーチ

カトリック教会天主堂保存会役員
日向文吾氏

私は天主堂の保存協会の役員1人であり、本日は貴重な時間誠に有難うございます。

只今荻原先生より天主堂の貴重な事について非常に詳しいお話がありました。庄内には鶴岡、酒田と2つの都市がありますが、人情と申しますか夫々都市の特徴があるわけですが殊に鶴岡の場合は、よく他県の人が参りましてお話をおききしますとこの位明治建築が整った形で沢山保存されている処は日本全国でないだろうと申されるのでございます。藩公致道館はご承知の通り国の指定になっております。致道館が修復されましたのが昭和40年からでございますが、その4、5年前から

文化庁の建築の専門の先生方が鶴岡に度々来ておられますが、その都度天主堂に目をつけられて、これは全国的に見ましても非常に貴重な所謂洋風の明治建築であるという様な事を申されておりました。私も今は退職致しましたが、その当時教育委員会に奉職しておりました文化財関係を担当しておりましたので、何とかその保存につきまして皆様方のご賛成を得たいものだと思っておりましたところでございます。

旧警察庁舎は致道博物館の構内に移転されましたし、又旧郡役所前の地方事務所も博物館の構内に移築されました。しかしその建物は残念乍ら地方事務所時代、向って左側にありました議事堂と称される1棟が毀れてなくなってしまいました。それから公会堂も全部解体されてしまいました。

この様に惜しい建物が次々毀れられていきますけれども、幸いなことに警察庁舎、郡役所が残り、そして今お話ありました非常に貴重な教会建築の天主堂がその儘の姿で残っているという事は鶴岡市にとりまして誠に有難いことだと思っております。あの通り立派な尖塔がございまして夕には晩鐘が鳴りまして子供頃から懐かしい鐘の音を聞いて私共は育ったわけでございます。内川のほとりと申しましょうかほんとうに鶴岡の風光或は風格を示す貴重な建築物だと思うのであります。

その保存につきまして荻原先生よりお話ありました通りでございまして何とか皆さん方の大勢の力に依りまして子孫にこの遺産を残したいと考えるものでございます。

どうぞロータリーの皆さんにもこの点をご理解下さいまして保存にご協力下さいませ。この席から切にお願いする次第でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○プログラム委員会 海東与蔵君

私から会員スピーチについてご協力を願いたいと思います。誰でも人前でお話することが仲々億劫なことは私も承知しておりますけれども、そういう堅苦しい形ではなく、この前名簿をお上げした時にも申し上げましたが5分でも7分でもよいということで申し上げておったわけでございますが、今都合が悪いと言っても何時かは必ず廻って行くと思えますから、今後何時でも5分や7分の話をする位の材料を持って頂く様にして下さい。

今後はプログラム委員長の職権を以て、出席者の中から此の場でご指名申し上げますから材料の持ち合せのない場合はこの場で思いついた事でも結構ですからよろしくご協力をお願い致します。

○ロータリー情報委員会 張 紹淵君 スライドに依る

◆財団のためのプログラムと寄付金募集策

I ロータリー財団の意義を会員に周知せしむるためのプログラム。

1. 奉仕の理想を最も強調出来るのは財団に寄付することである。
2. それは、調和のとれた世界平和を獲得するかのよう、国際奉仕を最も大きく展開させることが出来るからであります。
3. 世界のロータリアン全部は財団の寄付者であることと、その扶養家族、血縁、婚姻による親族も全部、財団のプログラムの受益者となれんことを、大衆の誰にもわかりやすく理解出来るように周知させて。

4. 財団の特色を誤解されないように説明し会員の誇りを高める。
5. あなた自身から、あなたのクラブから、あなたの地区からと卒先して、あなたの家族親族から、あなたの大衆からの潜在性寄付者に関心を起させ、自発的によるんで寄付することに大きな意義があります。

II ロータリー寄付財団金募集のための具体策

1. 例会場にロータリー財団情報示説板を効果的な状態に整備して置く。
2. 毎例会に興味を引かれるように、全会員に財団寄付実績、計画、漸次増額率等を色分けしたグラフで財団情報を効果的に示説する。
3. 更に会報にそれを掲載して、会員を励まし、おだてたりして寄付に関心を起させる。
4. クラブは財団情報、成果等を適切な報道機関全部に亘るように、マスコミをすることあります。
5. 地区は寄付と免税の働きかけをすることあります。政府が積極的に協力する方向に財団を理解させましょう。
※今こそ行動のとき

○スマイルボックス

張 紹淵君 ロータリーの友11月号12頁に私の記事が載っております。大変勉強になりましたのでスマイルさせて頂きます。

○ロータリー情報委員会示説板

大川喜一君 張紹淵君 山本隆男君

- I 地区ロータリー財団委員会の任務。
 1. 財団の目的と活動の推進をやること。
 2. 財団の財政的継続援助を奨励する。
 3. 中央事務局と財団の活動を支援して、クラブとの連絡係りをする。
 4. クラブのロータリー財団週間に積極的且

つ効果的参加を推進する。

5. 地区内ロータリー財団の各小委員会の仕事の調整をする。
- II 地区ロータリー財団推進小委員会の任務。
 1. 強力な広報運動を行い、遂行し、財団の目的と計画を一般社会に広め、関心を高めること。
 2. クラブ及び個人の寄付増額を奨励する。
 3. クラブ及び個人の寄付募集の方法を開発する。
- III ロータリー財団推進の示唆。
 1. 各クラブに接して財団委員長の名氏及び宛先を入手する。
 2. クラブ委員長と年間通じて接触の予定を立てる。
 3. 寄付の特定計画を立てるようクラブに推

める。

例えば

イ、財団の友になること。毎年新会員10ドル、現会員は最低1ドル以上を寄付することに同意せしめ実行する。

ロ、百万ドルの食事をやる。食事代の差額を財団に寄付すること。

ハ、クラブ会長、その他主だった会員をポールハリス・フェロー又ポールハリス・準フェローたらしめるために、彼等の名義で寄付をして、彼等に栄誉を贈ること。

ニ、誕生日にロータリー財団基金の設定をする。

ホ、お互いにクリスマスカードを送るのをやめて、各会員が財団に寄付する。

4. ロータリー財団週間に財団の国際的成長活動にする継続的支援の必要を指摘する。財団週間キット、示唆試案をすること。

5. ポールハリス・フェロー・準フェローを個人ロータリアンに勧誘する。

6. 地区の目標を立てること。100%地区又はそれ以上に10%や、20%増を目指すこと

7. 1人当りの平均寄付額の増額をはかる。毎年、年2回貴地の寄付額、会員1人当りの平均寄付額を知らせ、各地区別の寄付額計表を送る。

8. 未だ充分参加していないクラブを特に説得するよう考慮すること。

9. 地区大会と地区協議会で財団を高調すること。人の気を引くような展示、感動的な講演、スライド「理解の財団」の上映

10. 財団ニュースを、地区ガバナー月信とクラブ会報にも掲載する。

11. 精通したロータリアンに財団の話をしてもらう。

12. 快諾者の氏名、住所をクラブに通知すること。